

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第7弾

政治の課題が私たちの生活に大きな影響を及ぼす

～福島県の最低賃金が726円／時にアップ～

クラシノコアゲ応援団・2016街頭行動第7弾は、10月6日午後4時30分からJR福島駅東口（中合前）にて、連合福島主催で連合福島の役員が中心となって開催された。



大場民進党県連副幹事長

冒頭に主催者を代表して今泉裕連合福島会長が、「政治の課題が

我々の生活に密着しているのは言うまでもなく、それらはこれまで私たちの生活に大きな影響を及ぼしてきた。特に今回まだ明確になっていないTPPの合意内容は、今後国内の産業や雇用などの様な影響を及ぼすのか注視して主催者代表挨拶をする連合福島今泉会長行かなければならない。地域においては福島県の最低賃金が10月1日から726円／時になった。これは前年度より時間給が21円引き上がったことになり、21円／時、生活の底上げが成されたことになる。このことは県民の皆さんに周知を図りながら広く訴えていきたい。」と、挨拶した。



大倉県高退連会長

その後、民進党福島県連の大場秀樹副幹事長と社民党福島県連の飛田義昭副代表と福島県高齢退職者連合の大倉冬樹会長から、応援と激励のご挨拶を頂いた。さらに、県労福協の佐久間通事務局長と連合福島の伊藤茂雄副会長と地域からの声として、田中秋広会津地域担当部長からクラシノコアゲ応援団として、現況報告とアピールがなされた。



飛田社民党県連副代表

また、道行く人へクラシノコアゲ応援団のチラシが入ったティッシュ配布を行って、連合が取り組んでいる活動に対して、市民の皆さんに理解と協力を求めた。

最後に連合福島加藤光一事務局長の力強いガンバロー三唱で、街宣行動は締められた。



加藤事務局長の力強いガンバロー三唱で締める



今こそ暮らしの底上げを！